

指定管理者評価票（令和2年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町高齢者福祉センター寿楽
 担当部課係：福祉部 高齢者福祉課 高齢者支援係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人瑞穂町社会福祉協議会
2 指定管理の期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	高齢者福祉センターが、高齢者の福祉の向上並びに健康の保持増進を図る場であるという設置理念に基づき、効率的かつ効果的運営と管理運営費の削減を目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 高齢者福祉センターの運営に関すること 2 施設及び設備の維持管理に関すること
5 施設の概要	<p>(1)施設及びサービスの内容 1階 高齢者在宅サービスセンター、事務室 2階 高齢者福祉センター</p> <p>(2)規模 敷地面積 4,979.67㎡ 建築面積 1,240.32㎡ 延床面積 1,827.88㎡（1階962.21㎡、2階865.67㎡）</p> <p>(3)設備内容 1階 機能回復訓練室、日常動作訓練室、教養娯楽室、相談室外 2階 集会室、一般浴室、作業室、図書室、茶室 外</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時） 平成5年12月6日完成 （導入後16年経過）</p> <p>(5)建設費用 1,802,431,000円 内訳 地質調査費1,236,000円、土地鑑定費990,860円 設計監理費78,817,660円、用地買収費664,920,770円 工事費1,054,853,900円、その他1,611,810円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用 外壁等改修工事 内訳 H27設計監理費978,480円、H27工事費17,496,000円</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期 維持補修 随時実施 改修 随時実施</p>
6 指定管理における具体的な目標	<p>(1)利用者へのサービス水準の向上目標 事業の増加を図り、より地域に密着したサービスに努める。サービス向上につながるものは柔軟に取り入れ、サービスの質を充実させる。</p> <p>(2)運営の効率化に関する目標 寿クラブとの連携を生かし、レクリエーション事業を実施することで健康の増進を図る。また、利用者の満足度や要望を把握し、適宜改善を行う。</p> <p>(3)施設維持管理費に関する削減目標 施設をいかに長持ちをさせるか、大切に使用できるかの検討を行い、更なる有効活用を図る。</p> <p>(4)その他の目標 地域の小学校や障害者福祉センター、保育園等との交流を図ることや、通年でボランティアの受け入れを実施することにより、開かれた施設運営を図る。利用者の個別相談にも応じ、ケース会議を開催したり、関係機関へつなげることにより地域福祉に貢献する。</p>
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	施設利用者に対し、利用者協議会などで意見を伺うことにより、意見把握を行っている。主催事業では実施後のアンケートにより利用者のニーズ調査を行っている。 また、「寿楽への手紙」での質問の回答については、必要に応じて、寿楽新聞を通じて利用者へ周知している。

指定管理評価票（令和2年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町高齢者福祉センター寿楽

担当部課係： 福祉部 高齢者福祉課 高齢者支援係

業務評価指標

		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
協定書・仕様書で示した事項	趣味、生きがい活動等の援助	26,302	10,430					人/年
	健康増進利用の集会所等の供与（老人クラブ）	1,617	59					人/年
	自立高齢者のデイサービス	1,790	1,365					人/年
	介護者等の研修及び指導	0	0					回/年
	施設利用者（一般）の送迎	973	31					人/年
	自立高齢者（デイ）の送迎	1,786	1,356					人/年
	自立高齢者（デイ）の給食	1,561	1,092					人/年
	機能向上訓練	237	200					回/年
	維持管理（大規模修繕）	2	4					回/年
	その他の修繕	22	9					回/年
開館日数等 （条例で示した施設目的の達成度）	条例で示した開館日数	295	296					日
	実開館日数	294	243					日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	2	2					人
	日常清掃	294	243					日/年
	特別清掃（床、特別清掃）	6	6					回/年

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		49,935,000	47,515,305					円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		3,393,400	2,498,600					円
職員の投入実態		175,000	175,000					時間*人/週
物品の提供実態		0	0					円
	インプット指標合計	53,503,400	50,188,905					円
提供物品の名称と数量：		0	0					

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

前指定末
(R1)

R2

R3

R4

R5

R6

		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
施設延べ利用者数		29,709	10,430					人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	29,709	10,430					人/年間
	町外在住者	0	0					人/年間
施設稼働率 （施設稼働日数及び貸出日数）	貸出日数	294	243					日/年
	稼働日数	294	243					日/年
	稼働率	100%	100%					
利用料収入		0	0					円
その他収入 ※H27より収入詳細を記載	事務所家賃 *1	0	0					
	事務所光熱水費 *1	0	0					
	高齢者福祉事業参加費	1,279,035	861,465					
	寄付金収入	3,020	0					
	受取利息配当金収入	237	228					
	雑収入	0	0					
	その他の活動による収入	165,955	1,626,847					
	施設設備利用料収入	1,276,700	399,590					
	拠点区分間繰入金収入	5,237,000	3,785,000					
計	7,961,947	6,673,130					円	

※1 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		49,935,000	47,515,305				
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		3,568,400	2,673,600				
利用料収入		0	0				
その他収入		7,961,947	6,673,130				
収入の部 合計	算定	61,465,347	56,862,035				円
	実収入	61,290,347	56,687,035				円

支出の部		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
人件費支出	職員給与	7,463,857	4,272,920				
	職員賞与	2,211,415	1,567,883				
	非常勤職員給与	16,730,367	19,965,948				
法定福利費		2,353,272	2,347,399				
事務費支出	福利厚生費	66,650	97,780				
	研修費	5,000	3,500				
	手数料	6,858	4,856				
	渉外費	0	773				
事業費支出	諸謝金	698,400	634,300				
	旅費交通費	14,992	0				
	消耗器具備品費	1,282,410	930,034				
	印刷製本費	309,575	207,249				
	水道光熱費	9,742,697	7,683,817				
	車両費	484,623	590,479				
	燃料費	348,821	221,997				
	修繕費	2,496,182	3,212,045				
	通信運搬費	578,468	453,309				
	業務委託料	9,818,420	7,671,039				
	保険料	590,206	618,458				
	賃借料	830,256	837,232				
	租税公課	600	5,000				
	援護費	0	30,000				
	給食費	24,140	0				
	教養娯楽費	132,684	94,118				
	軽食材料費	663,778	239,206				
教育指導費	475,180	173,241					
法人税、住民税、及び事業税	360,000	360,000					
施設整備等支出 固定資産取得支出（器具及び備品）	356,052	0					
拠点区分間繰入金支出（退職給与、退職共済預け金）	330,260	337,260					
その他の活動による支出	0	0					
退職共済預け金支出	0	0					
支出の部 合計	58,375,163	52,559,843				円	

収支差引	算定	3,090,184	4,302,192				円
	実収支	2,915,184	4,127,192				円

指定管理者自己評価 ※平成24度分より追加

利用者数の増加への取組み	前指定末 (R1)	・各種主催教室を実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げは引き続き進めた。既存団体から派生し、1団体新規に立ち上がる。・寿クラブへの利用呼びかけも随時行った。
	R2	・各種主催教室を実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループ化を模索するが、コロナ禍のため今年度は未実施。 ・寿クラブへ利用を呼びかけたが、コロナ禍で飲食ができず会議利用4回。
	R3	
	R4	
	R5	
	R6	
収入増に対する取組み	前指定末 (R1)	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。 ・カラオケ利用者から利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
	R2	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
	R3	
	R4	
	R5	
	R6	
コスト節減に対する取組み	前指定末 (R1)	・主催教室の低コスト（ボランティア活用など）実施に努めた。 ・節電、節水、節約などを推進した。
	R2	・主催教室の低コスト（町職員、社協職員、無償講師など）実施に努めた。 ・節電、節水、節約などを推進した。
	R3	
	R4	
	R5	
	R6	

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
利用者の利便性改善	休館開館	0	53					日/年
	開館時間延長	0	0					日/年
プログラム等質の改善	送迎バスの増便	便数は28便	便数は28便					
	利用者協議会の設置	3	2					
利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	利用者協議会結果	結果：良好	結果：良好					
	座談会	1	0					

その他

前指定末
(R1)

R2

R3

R4

R5

R6

		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6		
建設経費（元利返還費用）	建設費	1,802,431,000	1,802,431,000					円	
	償還利息	141,319,455	141,319,455					円	
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等+建設経費)	利用者数	29,709	10,430					人/年間	
	管理経費または指定管理料等	53,503,400	50,188,905					円	
	管理経費または指定管理料等/人	1,801	4,812					円/人	
	(管理経費または指定管理料+建設費)/人	67,227	191,173					円/人	
修繕費 (協定に基づく指定管理者負担上限額: 200万円)	指定管理者が行った修繕	件数	24	13				件	
		金額	2,496,182	3,212,045					
		内容	空調室内機、給湯二次ポンプなど	温水器配管漏水、館内誘導灯、キュービクル塗装など					
	町が行った修繕	件数	0	1					
		金額	0	3,465,000					
		内容		給水ポンプ設備修繕					
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防設備点検（法定年2回）	2	2					回/年	
	冷暖房設備（法定1回）	2	2					回/年	
	自動ドア（法定外）	2	2					回/年	
	自家用電気工作物（法定年6回）	6	6					回/年	
	エレベーター	12	12					回/年	
	監視カメラ	1	1					回/年	
	簡易専用水道検査	1	1					回/年	
	建築設備定期検査（法定年1回）	1	1					回/年	

総括

		R2	R3	R4	R5	R6	
経費比較 (指定前と指定後) ※行政資源（指定管理料等・町職員人件費・物品提供金額）の投入実態を比較 「実経費」では指定管理料等のみを比較	算定	指定後	50,188,905				円
		前指定末 (R1)	53,503,400				円
		比較	-3,314,495				円
	実経費	指定後	50,013,905				円
		前指定末 (R1)	53,328,400				円
		比較	-3,314,495				円
評価	前指定末（令和元年度）						
1次評価 担当課	施設利用者が前年度と比べ約8.1%減となった主な理由は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日から大浴場、カラオケ機器、麻雀設備、軽食サービスの利用中止によるものである。2月末までは、施設利用者が前年度と比べ約1%増で、一般利用者、老人クラブ利用者も増加していた。高齢者福祉センターでは、各種事業を実施する際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っている。また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが大変好評であり、自主財源確保のため努力している。施設の老朽化については、緊急修繕を行うなど対応しているが、今後も引き続き施設の延命に努め、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施し、施設の有効活用を図るよう指導監督を行う。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 福祉バスの乗り入れ時間を考慮し、利用者の利便性を確保している。 また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが好評であり、自主財源確保にも努めている。 【主な指摘】 施設の老朽化に伴う不具合が増えているが、緊急修繕を実施しながら施設の延命化に努めている。今後も利用者や団体の意見や要望をもとに創意工夫し、利用者数が増加するような事業展開に期待する。						
評価	令和2年度（1年度目）						
1次評価 担当課	施設利用者が前年度と比べコロナ禍による事業の休止等により大幅な減少となっている。 また、高齢者福祉センターでは、各種事業を実施する際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど利便性の確保を行っている（コロナ対策：入館時の検温、消毒。換気、利用人数の制限等による徹底した3密回避。など各対策をしながらの施設利用。）。このコロナ禍による施設では、施設利用者等への早急な情報提供や連絡等の対応を行っており、安全安心な施設運営について柔軟な対応をしている。 なお、施設の老朽化については、緊急修繕を行うなど対応しているが、今後も引き続き施設の延命に努め、施設の有効活用を図るよう指導監督を行う。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 【主な指摘】						
評価	令和3年度（2年度目）						
1次評価 担当課							
2次評価 指定管理者選定委員会							
評価	令和4年度（3年度目）						
1次評価 担当課							
2次評価 指定管理者選定委員会							
評価	令和5年度（4年度目）						
1次評価 担当課							
2次評価 指定管理者選定委員会							
評価	令和6年度（5年度目）						
1次評価 担当課							
2次評価 指定管理者選定委員会							